



# 人參五臟圓

古劑 白目 代銀 七 友  
 牛劑 五目 同 三 友 五 友  
 牛劑 北五 友 同 壹 友 七 友 友

○此丸五臟圓者 陰中調大に腎精とは 真氣と云ふふい 勞瘵腎症と云ふりて  
 りりし母氣所述の靈圓也 凡そ氣と凝り身たり根氣くはき守の去中  
 ○飲食消化に否酸し身重き等の症或大便なり又秘結等の症○血虛時  
 吐血衄血下血等の症○氣虛健忘怔忡 自汗盜汗等の症或發熱氣に夜目と或  
 夢多く常に驚き寐等々の症○思慮過 或怒過 或思慮過度より氣を結と  
 勞瘵等の諸症○心氣勞乏脚背より腎水耗り肝氣亢て真氣と守らざる等の症  
 ○耳鳴耳とく又眼力ら弱常に目眩等の症○心下に動氣うら氣とふけ小腹にこ  
 りさふく或腰膝手足の冷る等の症○冷湿く氣爽るに即痛む等の症○痰ふ  
 氣喘口臭く或渴を食ふ味ふく鹹物とふく或總身打撲のこく等の症○積氣  
 痞切常に肩脊中より打る等の症或痛氣積年久く愈れとふく拘攣と云ふ  
 等の症○齋飲ら氣とふけ 齋と云ふ等の症或肌肉瘦胸患く頭痛 黃水と云ふ時  
 じ或手足のくら熱さふけ 傷氣と云ふけ 虛勞勞咳等の症○婦人諸症氣病片  
 濁り血の凝り一切帶下の諸症○并腫病黃疸中風の症又いりひ立んと云ふ  
 かき高麻と頭熱と云ふの症を風邪たるに受る等の症に用い其功神效あり  
 ○右の病症は元氣の勞又氣血の虚る所より發る病ふれ此藥を服らに其症  
 治れるの基に陰中調大に腎精とは氣と血と融けり元氣とおさるい 瘵と  
 けり支專らふる瘵と云ふけ 瘵の氣弱症留滯の病皆當に行建と云ふこと  
 瘵症は女氣病弱し滯りるはきと云ふけ 又元氣の勞と云ふの諸症是等より守  
 功を得る大仙靈圓なり其書と云ふ本註書と云ふ

御免調合所 和州宇佐 山一治製

諸	京都 鞍屋町 高辻上ル	大和屋 伊兵衛
國	大阪 道修町 通二丁目	近江屋 太右衛門
取	關東 筋賣所 三丁目	齋川屋 孫太郎
次	江戸 深川 木場入 船町	武藏屋 金治郎
所	名 古 屋 京 町	銚 屋 治 助

石の針筒を改めしは